

平成30年度 岐阜県立山県高等学校 学校経営計画

学校番号	学 校 名
16	岐阜県立山県高等学校

学校教育目標	1 校訓「自主積極」の精神のもと、真理と正義を愛し、個人の価値観を尊び、自由と責任を重んじ、心身ともに健康で社会貢献できる心豊かな人材（地域社会人）を育成します。 2 実践項目①「基礎学力の定着」 ②「さわやかな挨拶の励行」 ③「部活動の充実」 ④「環境美化の推進」に取り組みます。 3 学校教育方針「地域の将来を担う人材の育成」をします。	
今年度の具体的な重点目標	重点目標の達成に必要な具体的取組・方策	達成度の判断・判定基準あるいは評価指標
1 基礎学力の定着 「個々の生徒に応じた、学力伸長の指導」を通じて「授業を大切にし、授業に集中する」気持ちを育てます。	①常に授業改善に努め、少人数指導やTT、習熟度別授業などによりきめ細かい指導を行い、「わかる授業」の実践を推進します。 ②各種検定（漢字検定、全商協会主催各種検定等）に積極的に取り組めるよう、年間を見通した計画的指導を推進し、上位の級を目指す意欲を育てます。	① 生徒による授業評価の実施（2回） 教員同士の相互評価の実施（2回） ② 各種検定の合格率の向上（昨年以上）
2 さわやかな挨拶の励行 「自ら、元気よく挨拶ができる」態度を育てます。	①学校内外で、元気よく挨拶できるような雰囲気作りを推進します。 ②各職員室への入退室の際の挨拶やマナー、授業時の挨拶等がきちんとできるよう徹底して指導をおこないます。 ③生徒会による「あいさつ運動」を更に推進します。	① 学校評議員、保護者等による外部評価（1回） ② 各職員室等への入退室の態度を随時確認「入室の心得」をドアに掲示 ③ 「あいさつ運動」の参加者数を常時40人以上
3 部活動の充実 「3年間継続して部活動に参加し活動する」態度を育てます。	①一人一人にきめ細かい指導をおこない、充実感を味わうことのできる指導を目指します。 ②部活動の活性化を図り、大会、コンテスト、地域イベント等への参加機会を増やすとともに、入賞者を表彰します。 ③「先輩から後輩へ」、活動をつなげていくことの大切さを指導します。	① 部活動に参加し、積極的に活動する生徒を60%に ② 大会、コンクール等への取り組み状況（昨年以上） ③ 部顧問による評価、生徒対象のアンケート年2回
4 環境美化の推進 「教室内の整理整頓及び校内、学校周辺の美化」を推進します。	①教室内を整理整頓し、気持ちよく授業に取り組める環境づくりを推進します。 ②放課後の全員清掃と定例の大掃除で校内の環境美化に努めます。 ③生徒会執行部、各委員会、部活動、有志が中心となって、校舎内、学校周辺の清掃をおこない「地域」に愛される学校を目指します。	① 学校評議員、保護者等による外部評価（1回） ② 生徒対象のアンケート年2回 ③ 活動への参加者数80人以上 学校評議員、保護者等による外部評価（1回）
5 実践項目以外の活動の推進 「進路指導の充実、家庭・地域との連携」	①1、2年での進路体験学習、3年での地元企業・施設研修による就業体験学習を通じ、キャリア教育の充実を図ります。 ②進路ガイダンス、補習授業、面接指導などにより、積極的な進路指導を推進し、生徒一人一人の進路目標の実現を目指します。 ③一斉配信メールを通じて、緊急時の連絡だけでなく、学校行事や各種情報の積極的配信に努めます。 ④学校ホームページの新着情報の更新回数（H29年実績約250回）を維持し、教育活動の積極的配信に努めます。 ⑤地域行事への積極的参加を目指します。	① 学校評議員、保護者等による外部評価（1回） ② 就職率100%、希望大学への進学者数 ③ 学校評議員、保護者等による外部評価（1回） 一斉配信メールの配信回数 ④ 学校評議員、保護者等による外部評価（1回） 学校ホームページの更新回数 ⑤ 参加回数

平成30年度 教育指導の重点

岐阜県立山県高等学校
(全日制の課程)

1 学校教育の重点

- (1) 校訓 自主積極
- (2) 教育目標 校訓「自主積極」の精神のもと、真理と正義を愛し、個人の価値観を尊び、自由と責任を重んじ、心身ともに健康で、国際社会や地域社会に貢献できる心豊かな人材を育成する。
- (3) 実践目標

① 基礎学力の定着	② さわやかな挨拶の励行
③ 部活動の充実	④ 環境美化の推進

2 教科指導の重点

- (1) 方針
基礎学力の定着と、個々の生徒の学力伸長に努める。
- (2) 重点
 - ① 指導計画の作成に当たっては、具体的な到達目標を定め、指導内容の重点化を図る。
 - ② 授業研究を積極的に行い、生徒の興味・関心を喚起するための授業の工夫、改善を行う。
 - ③ 「授業規律を尊重する」ことの徹底に心がけ、日々の授業を大切にする。
 - ④ 個別指導に力を入れ、多様化した生徒に対応する。

3 生徒指導の重点

- (1) 方針
社会生活に必要な基本的生活習慣と自己指導能力を身につけた生徒を育成するために、家庭や地域、小中学校や関係諸機関と連携を図り、意欲的な学校生活を送らせるように努める。
- (2) 重点
 - ① 基本的生活習慣の確立
 - ② 問題行動の未然防止
 - ③ 人権意識の深化
 - ④ 安全意識の高揚
 - ⑤ 教育相談の充実

4 進路指導の重点

- (1) 方針
生徒一人一人の個性に応じた進路指導を充実させ、自己の進路目標の実現に向けて意欲的に取り組み、主体的に努力していくことができる生徒の指導・育成に努める。
- (2) 重点
 - ① 進路ガイダンスや進路体験学習の充実を図り、キャリア発達を促す。
 - ② 生徒の個性に応じた進路選択ができるよう積極的な進路相談を推進する。
 - ③ 全職員の共通理解と協力体制のもとで進路指導の充実を図る。

〈留意点〉

※平成29年度に実施した自己評価及び学校関係者評価の結果を分析し、学校課題を明確にした上で作成すること。